

図書室通信

第34号 伊集院中学校図書室 令和2年4月 卯月 April

4月！スタートの季節に

伊集院中学校504名の皆さん、ご入学、ご進級おめでとうございます。きらきらとまぶしい光の中で、花や草木までもが皆さんの新しいスタートを祝福しているかのようです。新しい友達、先生、教室に、新鮮でわくわくとした希望でいっぱいのことと思います。学習や、様々な活動も前向きに取り組んで、今までとはちょっと違う自分になれそうです。それと同時に、不安も少しありますね。でもみんなそうだから大丈夫！



心と体が元気なのが一番です。ゆっくりでいいので新しい環境に慣れていきましょうね。

皆さんにとってすばらしい1年となりますように！



「そうだ！図書室へ行こう」

なにもかも新しい春。

今年は、どんな自分になりたいですか？

これからいっぱい立てられる、自分の予定。

その中にぜひ、本を読む時間も！

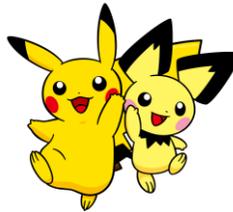
本を読むといろんなことを考える力がつくし、気持ちが豊かでいいアイデアが浮かぶ人になります。

そして、知識が少しずつ増えて、自然にかっこいい顔になります。

読んでいる本の続きが気になるから、毎日がちょっと楽しくなること請け合いです！

本を読むといいことばかり。

あなたも、みんなが行ってる図書室へGO！



★ 季節のイベントや、映画の紹介などもやっています！



©少年写真新聞



《図書室利用について》

- 開いている日 : 月曜日～金曜日
- 開いている時間 : 1時間目の休み時間～放課後
- 貸出し冊数 : 1人2冊 (金曜日は3冊)
- 貸出し期間 : 14日間 (2週間)
- 貸出し : 借りたい本と貸出しカードをカウンターへ。
貸出しカードはクラスごとにケースに並んでいます。
- 返却 : 返す本をカウンターへ。
手続き後、自分で本棚へ。

木・金・土曜日に朝読書があるよ。
図書室の本を借りて、準備しておこう！



◆◆ 読んでみませんか ◆◆

□マンガで身につく
友だちとのつきあい方

相川 充・著

友だちとの人間関係って、とっても大切で、とっても大変。実は毎日気を遣っているという人も多いのでは。人はみんな違って当たり前。話が合わないのは仕方ないけれど、できるだけ相手のことを認められて仲良くなりたいよね。この本では、友だちとの付



き合い方のヒントが紹介されています。皆さんの楽しい中学校生活のお役に立てればいいです。

(小学校高学年～中学生向)



「桜にまつわる言葉」

入学式に満開だった桜も散り出しています。桜は古くから日本人に親しまれてきた花。それゆえに桜にまつわる言葉も多いです。美しい言葉に触れてみましょう。

花冷え はなびえ

桜の見頃はうらかな時期だけれど、寒の戻りがないともかぎらない。そんな桜の季節の冷え込みをいう。

花明かり はなあかり

花が咲き乱れて、夜なのに明るく感じられるという情景。



葉桜 はざくら

満開を過ぎて、若葉が出始めたころの桜。

新学期に贈る

おすすめ BOOKS !



2020. 4 伊集院中学校図書室

□「ハッピーな部活」の作り方 中澤篤史・内田 良・著

1年生の皆さんは、もうすぐ楽しみにしている部活動が始まりますね。部活動って、きつい練習もあるので、つらいこともあります。でも、基本は友情や感動を味わうことのできる、楽しいものでなくては！この本は、部活を楽しく続ける考え方や、部活をしてよかったと思えるようになるヒントが詰まった1冊です。



□スべらない同盟 にかいどう青・著

レオは、自他ともに認めるイケてる中学2年生。軽音部ではメインボーカルだし、運動だってできる。でも、ちょっとしたことから、クラスの最下層に転落したレオ。自分といることで、人気者にしてやろうと、無意識に見下していた藍上にも去られてしまう…。

読書の楽しさに気付いていくレオに共感！



□ロウソクの科学



□ロウソクの科学 ファラデー・著 三石巖・訳
「この宇宙をまんべんなく支配するもろもろの法則のうちで、ロウソクが見せてくれる現象にかかわりをもたないものは一つもないといってよいくらいです」ロンドンの貧しい鍛冶屋の家に生まれたファラデーは、1本のロウソクを用いて科学と自然、人間との深い交わりを伝えようとする。時を超えて読者の胸を打つ感動的名著。



□こども六法 山崎 聡一郎・著

皆さんは法律にどんなイメージがありますか？
法律は大人も子どももすべての人が守るべきルールです。そして、わたしたちの自由で安心な生活を守るためのものでもあります。この本はたくさんある法律の中から子供にも関係ある法律をピックアップしています。わかりやすい言葉にしてあるので、興味のあるところから読んでみてください！

□虹いろ図書館のへびおとこ 櫻井とりお・著

いじめがきっかけで学校に行けなくなった、小学6年生の火村ほのか。たどり着いたおんぼろ図書館でみどり色の司書、謎の少年、そしてたくさんの本に出会い、ほのかの世界は少しずつ動き出す！

図書館があなたのところを彩る感動の物語。



□なんだろうなんだろう ヨシタケシンスケ・著

「いってきまーす」いつものように学校に向かうぼく。途中で会った友だちのお母さんから「学校どう？たのしい？」って聞かれた。「そう言われてみると、たのしいってどんな気持ちなんだろう…」友だちって？しあわせって？立場って？ふとした瞬間に浮かぶ、12の「なんだろう」を徹底追究。



